



糖尿病タイムズ



第38号 (2022年 7月 1日発行)

シックデイの時のお薬..何をどうすれば良いの？

いつもご愛読ありがとうございます。第7号(H29年5月発行)にシックデイの時の対応についてまとめておりますが、今回は“薬”の観点から有事の際の対応を書かせていただきたいと思います！

◆そもそもシックデイとは



糖尿病治療中の方が、①感染症・発熱・疼痛・外傷などによってストレスにさらされた際、ストレスホルモンによってインスリンの効きが悪くなり高血糖となったり、②逆に食欲不振や嘔吐・下痢などによってエネルギーが摂取できず低血糖になる状態のことを指します。

⇒血糖値が不安定となりやすいため、対処法を知っておく必要があるのです！



◆お薬の対応

●中止すべき薬

<p>SGLT-2阻害薬 (尿に糖を出す薬)</p>	 <p>フォシーガ ジャディアンス トラディアンス配合錠</p>	<p>糖と一緒に水分も排出してしまい、脱水になりやすくなります。また、高血糖でなくても体にケトン体が溜まった状態(ケトアシドーシス)になりやすくなります。</p>
<p>ビグアナイド薬 (インスリンの効果を高める薬)</p>	 <p>メトグルコ エクメット配合錠</p>	<p>発熱・嘔吐・下痢などにより脱水症となったとき、乳酸アシドーシスという命に係わる副作用が出やすくなるため、本薬を中止し飲水を行ってください。</p>

●食事量によって減量すべき薬

<p>SU薬 (1日中インスリン分泌を助ける薬)</p>	 <p>グリメピリド アマリール グリミクロン</p>	<p>いずれも食事がとれないまま通常通り内服すると低血糖になるリスクがあります。普段の半分の量しか食べられないときは半錠、普段の半分も食べられないときは内服中止としてください。</p>
<p>グリニド系 (食後のインスリン分泌を補助する薬)</p>	 <p>グルファスト レパグリニド(シュアポスト) グルベス配合錠</p>	

◆困ったときは

上記のように「どうすべきか」を知っておくことも大切ですが、体調が良くならない・どう対応すべきか分からない時は、早めに担当の先生に相談する事も大切です！

<編集後記> 気候も徐々に夏めいてきて野菜の美味しい季節になってきましたね。腎臓が悪くカリウム(K)が高い方は茹でた野菜を食べてくださいね！喉が渇くからといってジュースの飲みすぎも厳禁です！

発行元：市立三次中央病院
糖尿病療養指導チーム
文責：医師(宮地康平)

